

DETiT

TAIGA × KADUKI





DETiT

TAIGA × KADUKI









あ、
あれっ…!?

あららつ
起動しちゃった
みたい

タイガくん！









野良猫を追いかけて
迷子になっちゃった
お前を皆で大捜索したり

ヒーローショーの
真似事しようとして
スケボーで怪我したり

俺の家の手伝いするって
張り切ってペンキで
壁に落書きしたり…

もう、
いいっす！

それに：

小さい身体の割に
誰にも引けを取らない
でつかいジャンプ
飛んでたな

初めて俺に見てくれた
プリズムジャンプ
すげえフリーだムで
目が離せなかつた



…当然っすよ



俺はこの体で
カヅキさんのこと
抱いてみたいで

あ、あの…
元に戻つてからに
しねえか…?

なんスか?

昔のお前を
そういう目で
見たくないって
いうか:

いいじや
ないすか

それに
カヅキさんのにおいて
俺さつきから、もう…

お、おい…

カヅキさ…
あつ…

止まんねえ
ア…ヤベ…

は

そんな可愛い声で
呼ばないでくれ…ツ



















敏感なトコ
悪いけど

もう…
入れていいか？



待って
カヅキさ…

よし

ハッ

よめきよめき











もう昔のアルバム
簡単に開けねえな…

…参ったな
こんな可愛い後輩の
味まで覚えちまつて



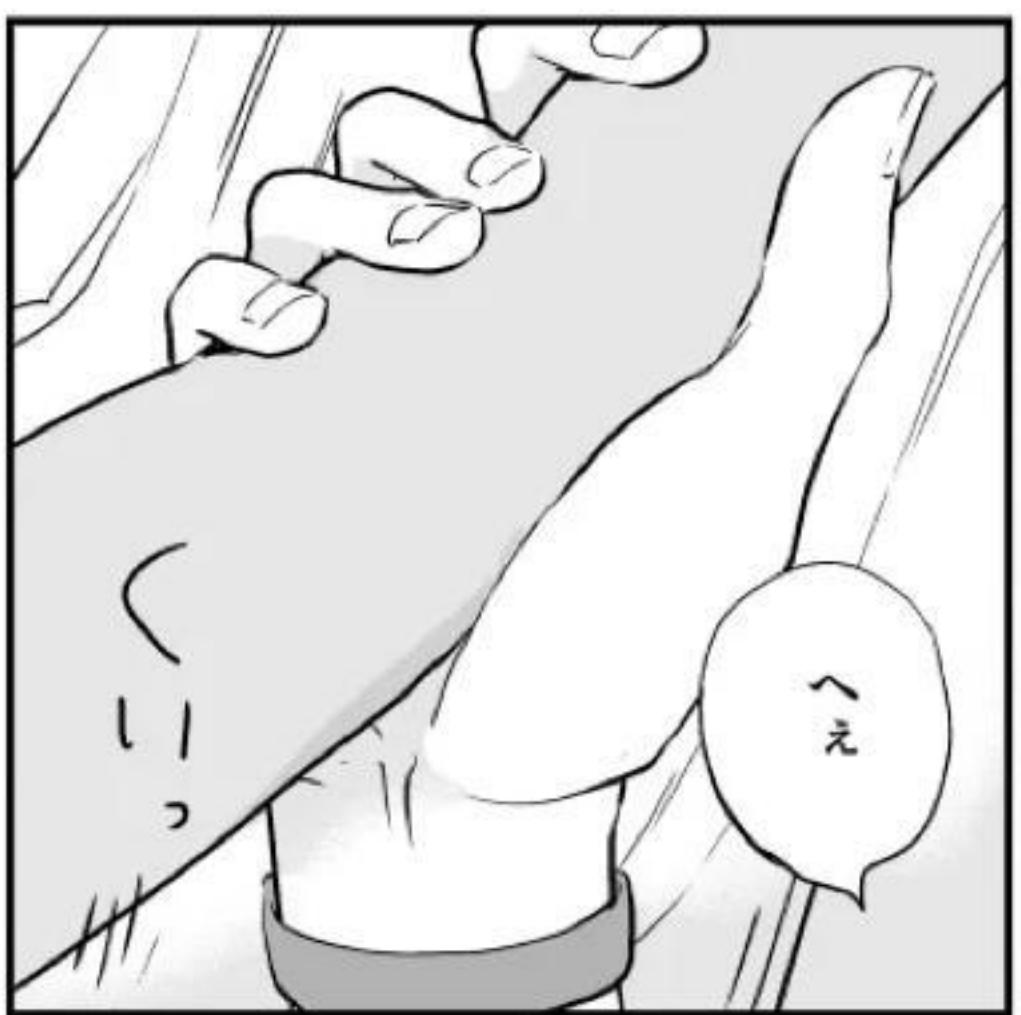














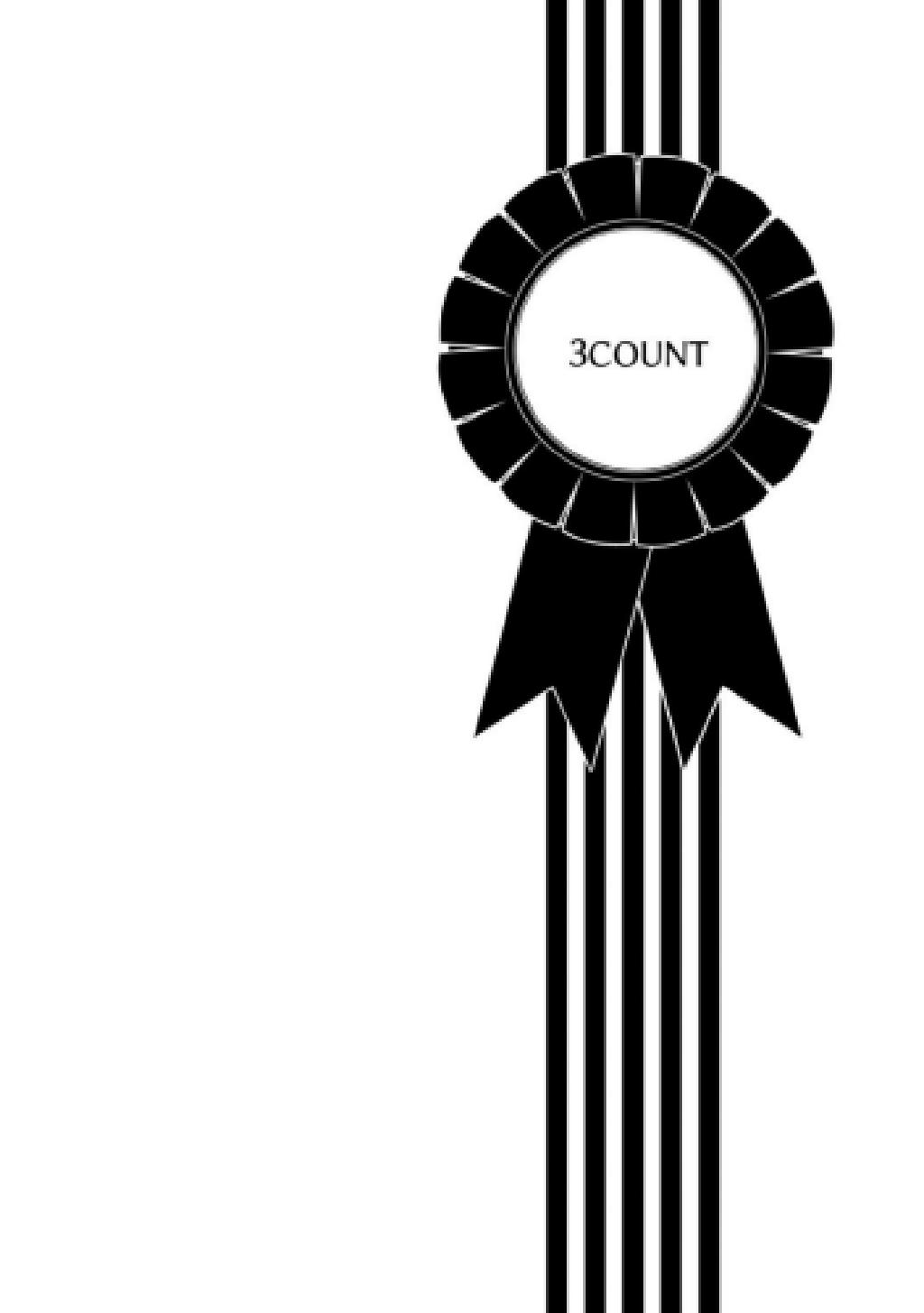
お前何でない
君が心事
聞かせてよ。

おう、やめなよ

お前何でない
君が心事
聞かせてよ。

やるいはる子の
うけいへんが、
これ

ばーか



3COUNT

高校卒業と同時に
タイガに告白を
された

好意は素直に
嬉しいと思った

でも恋愛がよく
理解できない俺は
すぐに受け入れる事が
出来なかつた

…なら
待つてます

あなたが
恋を覚えるまで

ずっと
待つてます





毎日牛乳飲んでるんで
まだまだ伸びるつすよ

会うたびに
タイがは少しずつ
大人になっていく

俺はいつまでも
前に進めないまま

ミホントはどこか
飯のウマイ店予約して
デートにでも誘いたい
ところですけど

今の俺は
その役回りには
なれねーんで

何言つてんすか!
俺にとつては年に一度の
大切なイベントなんですよ

悪いな忙しいのに
時間とらせちまって







…プレゼント
用意してあるからに
決まってんだろ



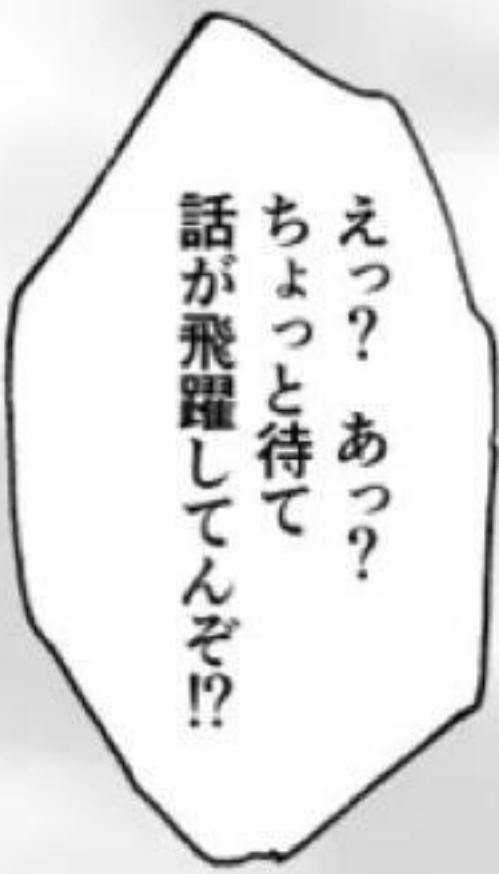


好きだよ
タイガ



結婚して
ください!!!

カヅキさん…



えつ？ あつ？
ちょっと待て
話が飛躍してんぞ！？